



第1回臨時会で決まったこと



第1回臨時会が1月21日に招集され、議案については原案のとおり可決されました。

補正予算

可決

▽令和元年度城里町一般会計補正予算(第7号)について

追加補正額

1,506万円

予算総額

114億5,352万9千円

追加内容

- ・衛生費の自動車購入費用
- ・農林水産業費の災害による持続的生産強化対策事業
- ・債務負担行為
- ・地域活性化イベント支援事業
- ・江戸川区都市交流田植え稲刈り体験事業

反対討論

関 誠一郎 議員

昨年12月に上程された2tダンプ購入費1,430万円(建設会社見積)は余りにも高額のため削除した。今回は906万円で上程(入札の結果650万円)。この一連の流れは執行部に對し大きな不信感を抱いた。町長の説明ではこの助燃材は2日に1回運搬が必要とのこと。しかし衛生センターに行き確認すると、1週間から2週間に1回の運搬とのこと。町長の議会に對して嘘の説明であることが判明。故にこの車両購入に反対する。

賛成討論

片岡 藏之 議員

今回の補正予算では、第一に助燃材運搬車の購入費、第二に農地災害の復旧費、第三に地域活性化イベント支援事業、第四に江戸川区との交流田植え稲刈り体験事業の四つの事業の実施に向けた予算及び債務負担行為が提出されているが、いずれも本町にとって必要な事業と考えられる。今回の四事業はいずれも議決が遅れることで実施スケジュールに悪影響が出たり、支障が生じたりすることもあり、良識ある判断で賛成いただければ。

反対討論

藤咲 芙美子 議員

地域活性化イベント事業、江戸川区との交流事業には同意できる。衛生センターから環境センターまで脱水汚泥を運ぶ運搬車を購入することだが、発生汚泥量の見込みが過大すぎる。車両費の見積もりも曖昧だ。12月議会で否決された車両費用、1,430万円の見積もりが今回は906万円になつている。見積もりそのものがそれほど不確定、曖昧なものではないか。修理が1,000万円というのも具体的でない。

反対討論

加藤木 直 議員

今回提案された衛生センターの脱水汚泥を助燃材と称し、環境センターで焼却するための運搬車両(2t車、906万円)購入については、反対である。理由として、焼却する環境センターの周辺住民への啓蒙周知がされているとは思えない。また、近隣の野外活動施設(ふれあいの里、ホロルの湯)への影響なども検討されていない。脱水汚泥は、再利用するならば食残飯、家畜糞尿などと混ぜ自然に還元し、循環型社会という処理が望ましいのではないか。